

理科 社会 国語

受験対策講座の使い方

受験対策講座とは？

入試本番に向けて、入試問題を解く力につけていくための講座です。

実際の入試問題を使った演習で着実に入試本番レベルまで力をつけていくことができます。

※ 標準・難関レベルの公立高校の入試に対応しています。私立高校の入試や、公立高校入試の共通問題以外の問題(東京都の自校作成問題や神奈川県の特色検査など)や大阪府のC問題には対応していません。



受験対策講座を使いこなして、
入試に向けて
実力をつけていこう！

学習する時期に応じて講座を活用しよう！



スケジュール

1 学期

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

夏休み～2学期

冬休み～3学期

単元別演習

過去問

入試
本番！

単元別にSTEP1～3で 基礎レベルから入試レベルまで 着実にステップアップ！

試験によく出る問題を厳選し解説。

最短で本番入試の対策ができ、得点力を養成することで合格に一気に近づけます。

記述対策についても詳しく解説します。

STEP1・2はもちろん、難関校を目指す場合はSTEP3までしっかり取り組みましょう。

理科・社会でまだ習っていない範囲がある場合は、習った範囲から解きましょう。

過去問もしっかりやろう！



どんな動画授業や問題があるかは次ページ以降で、
冬休み～3学期の詳しい内容は「スタサブ式受験対策【入試直前編】」で紹介するよ！



受験対策講座の使い方

理科

社会

国語

共通

志望校に合格するために、自分にあった使い方で
受験対策講座を上手に活用しましょう！

中3 理科 受験対策 [公立標準・難関]

講義数 30 完了 0

講義リスト

物理

光・音の性質

- STEP1：基本レベル
- STEP2：標準レベル
- STEP3：難関校突破レベル

力の性質

動画・演習

各単元は難易度別にSTEP1～3の
3つにわかれています。

- STEP1：基本レベル
- STEP2：標準レベル
- STEP3：難関校突破レベル

難関校を目指す方はSTEP1～3まで、
それ以外の方はSTEP1～2までの学習が
オススメです。

※受験する都道府県・高校の入試過去問も必ず解
いて出題傾向や難易度を確認しておきましょう。

※基礎知識から学びたい方は、通年講座「中1～3
理科」「中1～3 社会」「中1～3 国語(共通版)」の
受講をオススメします。

学習の順序

1

問題を解く

2

答え合わせをする

3

間違えた問題の解説動画を見る

4

解き直す

次のページで
詳細をチェック！



学習の順序

講義動画

Ⅱ (1) 光の反射

(2) 光の屈折
進む方向
ガス
ガラス
水
ガラス
ガス
ガラス
ガス

(3) 凸透鏡

RECRUIT

光・音の性質

テキスト

公立受験対策テキスト 理科・第1講

第1講 光・音の性質

Step 1

① 次の各問い合わせに答えなさい。

(1) 右図の矢印のように光が出て、鏡 A, B の順に反射するときの光の道すじを図中にかけ。

(2) ガラス中から空気中に光が屈折して進むとき、
① 角度が大きいのは入射角と屈折角のどちらか。

② ある角度で光を入射させると、光は屈折して空気中に進まずにすべて反射する。この現象を何というか。

(3) 右図のように L 字型の光源と凸レンズとスクリーン

光源 凸レンズ スクリーン

次へ

1

問題を解く

- 問題は過去の入試問題や、重要事項から厳選して作成しています。
 - PDFを印刷し、目標のSTEPまで問題に取り組みましょう。
※ 印刷できない方はノートを用意して、画面のPDFを見ながら取り組みましょう。
 - 入試本番のつもりで集中して解きましょう。
取り組み時間：15分（得意科目なら10分）

2

答え合わせをする

- 問題の後に解答があります。目標のSTEPまで全て解き終わったらすぐに答え合わせをしましょう。
 - 記述問題や作文問題は自分で見るだけでなく、学校の先生や信頼できる人にチェックしてもらうと改善点が見つかりやすいです。

講義動画

RECRUIT

テキスト

公立受験対策テキスト 理科・第1講

第1講 光・音の性質

Step 1

① 次の各問いに答えなさい。

- (1) 右図の矢印のように光が出て、鏡A, Bの順に反射するときの光の道すじを図中にかけ。
- (2) ガラス中から空気中に光が屈折して進むとき、
① 角度が大きいのは入射角と屈折角のどちらか。
- (3) ある角度で光を入射させると、光は屈折して空気中に進まずにすべて反射する。この現象を何というか。

③ 右図のようにL字型の光源と凸レンズとスクリーン

光源 凸レンズ スクリーン

次へ

3

間違えた問題の解説動画を見る

- 動画では問題の解答以外に、解答根拠や一緒に覚えておきたい事項などを解説しています。
- 間違えた問題や、不安な単元は必ず解説動画を見ましょう。

4

解き直す

- 答えや解説動画を見るだけでは得点力はつきません。
間違えた問題は必ず解き直しをしましょう。

すぐに解き直すことも大切ですが、時間をあけてからもう一度解き直すと、本当に理解できているかをしっかりと確認することができます。

